

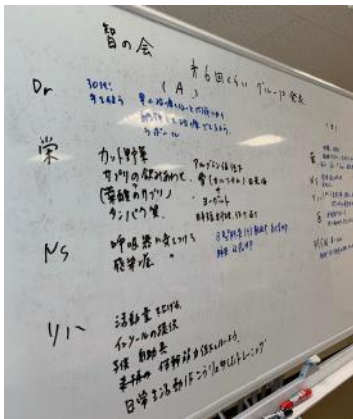
リウマチ智の会

ケースカンファレンス 発表 IN 南川整形

開催日時：2019年6月10日(月)

【参加者】

医師：南川 智彦
看護部：佐藤/上野/黒木/日吉/牧野
中野/山下/福高
薬剤部：斜木
医事課：岩崎
MSW：吉村
リハビリ部：鶴田/西野/城ヶ崎



グループワーク

- ❖ ゴール：エビデンスに基づいて治療方針を決定する
- ❖ 目的：コミュニケーション、グループ共有のビジョンを持つ

【これまでの流れ】

- ① 状況把握：参加者お互いの知識、意見を把握
- ② 選択案づくり：治療方針の案を出す。特徴を捉える。
- ③ 合意決定：治療方針の比較、合意の上で結論を出す
- ④ 発表のまとめ：これまでの意見を集約しまとめる

ケースカンファレンス 発表

はじめての取り組みのため、不慣れな点も多くありましたが、身近なスタッフをディスカッション症例に設定して取り組んだため、ケースに寄り添った発表になったのではないかと感じました。また、各職種がまんべんなくカンファレンスに参加していたこともあり、話し合いの中で疑問が生じたとしても、それぞれが専門的な知識を活かし問題を乗り越えることができました。カンファレンスの最後には、南川智彦 Dr.から「必要な意見は出尽くした感じ」「付け加えることは少ないよ」という総評をいただくことができました。



～看護部からの感想～

今回は、今までグループに分かれて一人の症例について話し合ってきた内容を発表しました。様々な職種から専門的な意見を聞くことができました。患者さんが望んでいること、不安に思っていることはそれぞれ違います。生活習慣や活動性も様々な中、不安に思うことも様々です。病気のことや今後の生活のこと、治療内容について、金銭面についてなどデリケートな面にも接していく必要があります。医療を受ける患者さんの個別性を大切にし、信頼関係を築きながらチーム医療で患者さんを支えていきたいと思えます。

看護部 福高・山下